

## 自動運転実証実験に係る連携候補事業者 公募要項

### 1. 事業者公募の目的

仙台市では、回遊性の確保が課題となっている青葉山エリアにおいて、自動運転等を活用した先端的サービスの実証・実装を目指しています。令和6年2月には、実証・実装に向けた事前調査として、地下鉄東西線・国際センター駅と仙台城跡の区間で、自動運転技術を搭載したEVバス車両を手動で運行し、自動運転に必要な周辺環境のデータ収集・分析等により技術的課題を把握するほか、利用客の需要・ニーズの調査等を行いました。

来年度、国が行う自動運転のための公募への応募に向けた検討を進めるにあたり、連携する候補事業者を、以下のとおり広く募集します。

### 2. 連携事業者の公募

実証の実現に向けて、「自動運転を実施する主要な事業者」の連携候補として、自動運転実証事業を推進する意欲がある事業者を募集します。

### 3. 提案内容

#### (1) 実証実験実施エリア

- ・ 今年度実施した「青葉山グリーン回遊プロジェクト」の実施エリアを参考に、地域課題の解決や地域づくりに寄与するエリアを選定すること。
- ・ 自動運転の技術動向や、道路整備状況等も踏まえ、実証実験に適したエリアがあれば、複数エリアを提案すること。

#### (2) 自動運転車両・技術面における特徴

- ・ 将来的にレベル4運行可能な自動運転車両とすること。
- ・ 乗客・周辺歩行者や車両の安全性を考慮すること。

#### (3) 経営面における特徴

- ・ 事業の再現性、持続可能性の観点から自動運転にかかる費用を提示すること。
- ・ 持続可能性を意識した収支計画を構築すること。
- ・ 事業の収入拡大策・費用削減策があれば併せて提案すること。

#### (4) 実施体制

- ・ 実証実験を実施するにあたり、移動サービスの担い手となる運送事業者と連携することが望ましい。
- ・ 実証実験を推進する体制を記載するとともに、各団体・組織の役割を記載すること。
- ・ 大学・研究機関等と連携する場合は、研究内容、研究室名、本実証と当該研究との関連性も記載すること。

(5) スケジュール

- ・ 実証実験を実施するために適切なスケジュールを設定すること。
- ・ レベル4実装に向けたロードマップがあれば、併せて提案すること。

(6) その他

- ・ 路車協調システム等、車載センサー以外のデータとの連携に関して、アイデアがある場合は提案すること。
- ・ 実証実験終了後の体制についてアイデアがある場合は提案すること。

#### 4. 応募資格

本連携候補事業者公募へは、以下に掲げる条件をすべて満たす共同提案体であること。

- (1) 将来的にレベル4自動運転技術を提供することが見込まれる事業者が参画すること。
- (2) 運送事業者が運行主体として参画することが望ましい。なお、運送事業者は複数の共同提案体に参画することも可能とする。

#### 5. 質問受付及び回答

(1) 質問受付

ア 受付期限

令和6(2024)年3月11日(月)17時必着

イ 提出方法

電子メール

ウ 提出先

仙台市まちづくり政策局プロジェクト推進課 (担当) 松原、天方

住所：〒980-8671 仙台市青葉区国分町3-7-1

電話：022-214-1254

電子メール：mac001630@city.sendai.jp

エ 記載事項

メールの件名に「自動運転実証実験に係る連携候補事業者公募(質問)」と記載し、本文に「質問者の事業者名」、「部署」、「氏名」、「連絡先電話番号」、「質問内容」を明記してください。

オ 留意点

- ・ 評価及び審査に関する質問には回答しない。
- ・ 質問の内容に疑義が生じた場合は、市より質問者へ問い合わせをする場合がある。

(2) 質問回答

ア 回答日

令和6(2024)年3月12日(火)

イ 回答方法

本市公式ウェブサイトには回答を掲載する。

ウ 留意点

- ・ 同趣旨の質問が複数あった場合は、まとめて回答する。
- ・ 質問者の名称等については公表しない。

## 6. 参加表明

応募を予定している者は、以下により連絡すること。

(1) 受付期限

令和6(2024)年3月14日(木)17時必着

(2) 提出方法

電子メール

(3) 記載事項

メールの件名に「自動運転実証実験に係る連携候補事業者公募(参加表明)」と記載し、本文に「応募予定者の事業者名」、「連絡担当者の部署名及び氏名」、「連絡先電話番号」、「連絡先メールアドレス」を明記してください。

(4) 提出先

仙台市まちづくり政策局プロジェクト推進課 (担当) 松原、天方

住所：〒980-8671 仙台市青葉区国分町 3-7-1

電話：022-214-1254

電子メール：mac001630@city.sendai.jp

## 7. 提案書の提出

(1) 提出期限

令和6(2024)年3月25日(月)17時(必着)

(2) 提出書類

**【様式】** 仙台市における自動運転実証実験に関する提案書

ただし、全ての欄の記載を求めるものではなく、可能な範囲での記入をお願いします。

また、説明の便宜のために、図表・ページ(自由様式)を追加しても構いません。

(3) 提出方法

電子メール

※ 提出後に下記(4)提出先への受信確認のご連絡をしてください。

(4) 提出先

仙台市まちづくり政策局プロジェクト推進課 (担当) 松原、天方

住所：〒980-8671 仙台市青葉区国分町 3-7-1

電話：022-214-1254

電子メール：mac001630@city.sendai.jp

(5) 留意事項

提出後の書類は、修正、差替及び追加をすることは出来ません。

8. プレゼンテーション審査

複数応募があった場合は、提案書に基づくプレゼンテーション審査を次のとおり実施する。

(1) 実施日時・場所

令和6年3月26日（火）午後（予定）

(2) タイムスケジュール

提案者による説明（20分）、質疑応答（10分）を予定。

(3) プレゼンテーション内容

提案書に則したプレゼンテーションを実施すること。

(4) 留意事項

- ・ 出席者は1者あたり3名以内とし、本事業を実施する際の責任者に想定している者を主たる説明者とする。
- ・ 実施時間・会場など詳細については、「6. 参加表明(3)記載事項」の連絡先メールアドレスあてに通知する。

(5) その他

- ・ 提案書にない画面は表示できないので注意すること。
- ・ プレゼンテーションに必要なパソコンは提案事業者が準備することとし、その他投影に必要なスクリーン及びプロジェクター等は本市で準備する。

9. 選定の基準

8.プレゼンテーション審査において、審査項目に基づいて総合的な評価を行います。以下の項目をすべて満たす者のうち、連携候補者として1者を選定します。

- (1) 本事業を推進する意欲を持っていること。
- (2) 推進しようとする取組が、仙台市の課題解決に資すること。
- (3) 提案した事業を遂行できる体制、能力を有していること。

<主な審査項目>

項目	評価基準
実施エリア	仙台市の課題解決につながる実施エリアを設定しているか
車両・技術面	自動運転は将来のレベル4の導入を前提としているか
	乗客と周辺歩行者や車両の安全性を確保することを目的に、適切に計画されているか 類似の事業実績があるか
経営面	持続可能性を意識した収支計画を設定しているか
実施体制	事業実施に十分な実施体制を計画しているか
スケジュール	実施スケジュールが適切に設計されているか

10. 事業者選定後について

- ・ 自動運転事業実施にあたっては国庫補助金の採択を前提とします。
- ・ 選定された事業者は、自動運転実証事業に向け、連携して準備を進めていく主要な事業者の候補として、仙台市とともに構成する「(仮称)仙台市自動運転推進コンソーシアム」へ参画するものとします。
- ・ 事業提案については、そのまま国への応募書類へ記載されるものではなく、仙台市との調整を経て、国への応募書類を作成していきます。
- ・ 選定された事業者は、今後、国の自動運転に関する応募に向け、国の応募書類における事業案の整理や資料作成等の準備作業を仙台市と連携しながら実施していただきます。なお、それに対する対価の支払いは発生しないものとします。
- ・ 本事業は、「仙台市×東北大学スマートフロンティア協議会」の事業の一つとして位置づけられるため、共同提案体の代表事業者は、既に参画されている場合を除き、当該協議会に参画していただきます。また、実施内容が決まった際には、当該協議会において報告等を依頼することがあります。

11. 本事業のスケジュール

日程・期限	内容
令和6年3月1日(金)	公募開始
令和6年3月1日(金)～3月11日(月)17時必着	質問受付期間
令和6年3月12日(火)	質問への回答
令和6年3月14日(木)17時必着	参加表明期限
令和6年3月25日(月)17時必着	応募受付期限
令和6年3月26日(火)午後予定	プレゼンテーション審査
令和6年4月上旬	事業者決定

## 12. 参考

国土交通省 令和 4 年度「地域公共交通確保維持改善事業費補助金（自動運転実証調査事業）」

### (1) スケジュール

日程・期限	内容
令和 5 年 5 月 26 日（金）	公募開始日
令和 5 年 7 月 25 日（火）	公募締切日
令和 5 年 10 月 11 日	公募結果発表

### (2) 補助率・補助額

補助額：事業実施に係る費用のうち最大 1.8 億円程度、補助率 10/10

### (3) ウェブサイト

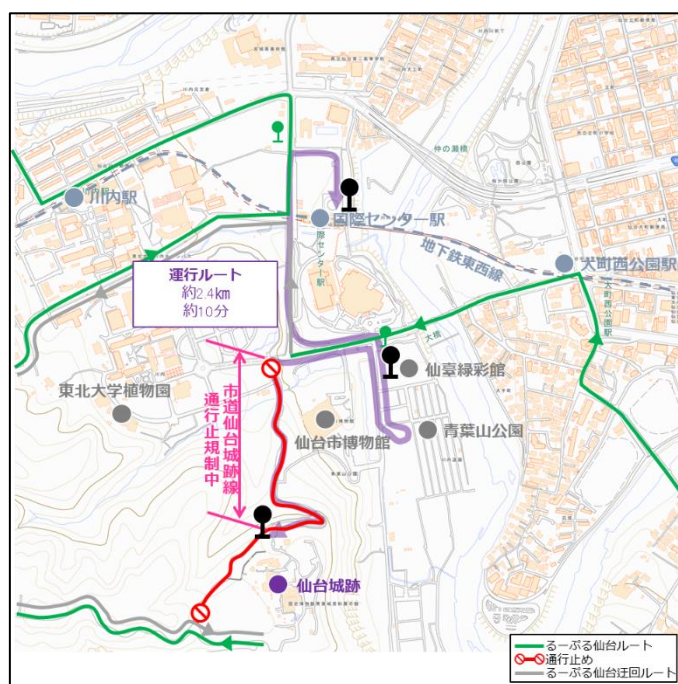
<https://www.pwc.com/jp/ja/news-room/autonomous-car-investigation2305.html>

## 令和5年度青葉山グリーン回遊プロジェクト 概要

### 1. プロジェクト概要

回遊性の確保が課題となっている青葉山エリアにおいて、自動運転等を活用した先端的サービスの実証・実装を目指します。今回は自動運転に必要な周辺環境のデータ収集や利用客のニーズ等の調査を行います。

### 2. 実施エリア



### 3. 調査概要

#### (1) 日時

2月11日（日曜日・祝日）、12日（月曜日・振休）、17日（土曜日）、18日（日曜日）の4日間

※11日（日曜日・祝日）は13時～16時、それ以外は9時～16時

#### (2) 運行区間

国際センター駅～仙臺緑彩館～仙台城跡（往復）、区間全体で約2.4km

※11日（日曜日・祝日）は仙臺緑彩館～仙台城跡の往復のみ

#### (3) 運賃

無料

#### (4) 検証内容

自動運転機能を備えたEVバス車両を手動で運行し、車両に搭載したセンサーにより、

自動運転に必要なルート周辺環境の点群データを取得・分析し、技術的課題を把握します。また、利用者へアンケート調査を実施し、同サービスのニーズや自動運転に対する受容性等を確認します。

#### 4. 車両

- ・ 車両名 Minibus
- ・ 自動運転レベル レベル4相当（本調査では手動運転）
- ・ 乗車定員 25人（本調査では客席14席のみ使用）
- ・ 最高速度 70km/h（自動運転時は35km/h）
- ・ センシングデバイス LiDAR／カメラ／RADAR
- ・ その他装備 GNSS および IMU

#### 5. 実証結果

##### (1) 利用者数

日付	仙台城跡方面	国際センター駅方面 (11日は仙台緑彩館方面)
2月11日(日・祝)	68人(5便)	69人(5便)
2月12日(月・振休)	101人(10便)	103人(10便)
2月17日(土)	126人(10便)	106人(10便)
2月18日(日)	145人(10便)※	131人(10便)

※ 定員14名のところ、未就学児は大人の膝の上に乗せて乗車することがあったため、上限を超えている。

##### (2) 技術的課題（自動運転環境）

取りまとめ次第、本市公式ウェブサイトにて公開します。

URL：<https://www.city.sendai.jp/project/supercity/20230912.html>

##### (3) アンケート結果（速報値）

完成版は取りまとめ次第、本市公式ウェブサイトにて公開します。

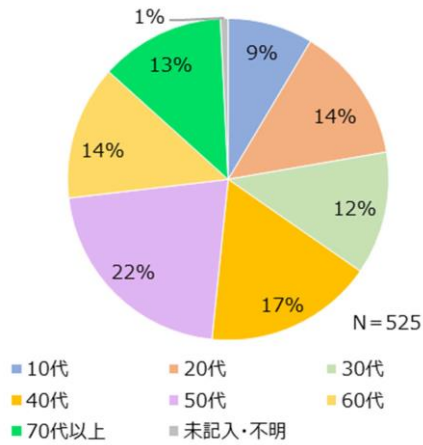
URL：<https://www.city.sendai.jp/project/supercity/20230912.html>

#### ア 回答状況

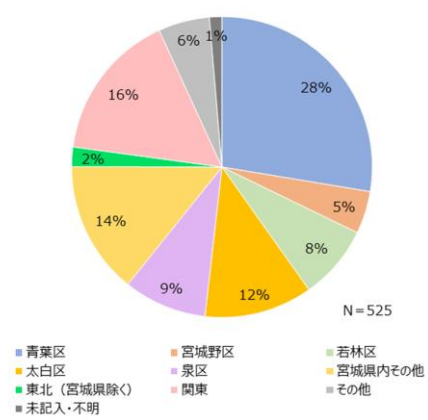
今回の実験では紙面493票、Web32票、延べ525票の回答をいただいた。



## イ 回答者属性

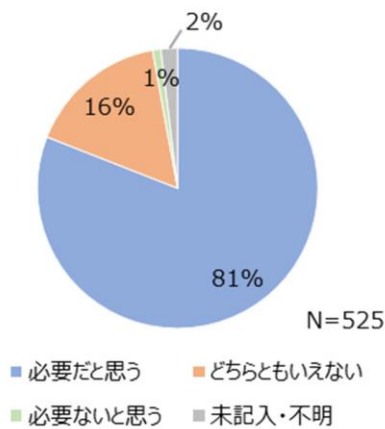


年齢の内訳

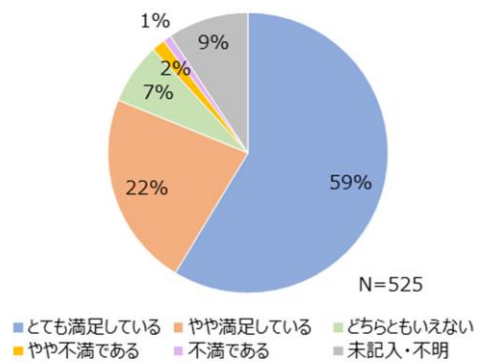


居住地の内訳

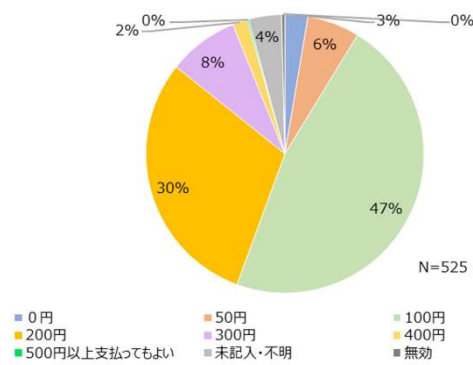
## ウ 集計結果



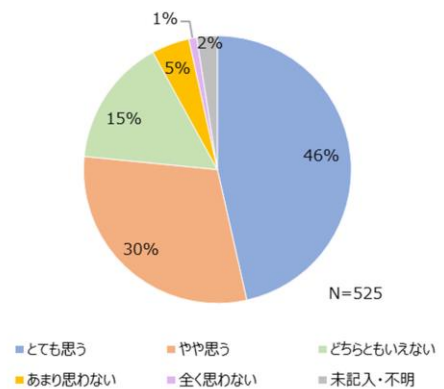
今回のような移動手段の必要性の内訳



今回のバス運行への満足度の内訳



支払意思額の内訳



自動運転の場合の乗車意思の内訳